

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ ウロボロス	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	研究者
オプション		年齢	15歳	性別	女
覚醒	渴望	衝動	殺戮	初期侵食率	53%
出自	親戚と疎遠	経験	敵性組織	邂逅	幼子

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	13
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	11
精神	3	0	0			3	戦闘移動	16
社会	0	1	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	21	5	交渉	1	
回避			知覚			意志	1	1	調達	2	
運転：二輪	2		芸術：料理	11		知識：レネゲイド	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
全て侵蝕率D未計算		0				2/3/4の回数は連動
		0				
Photon shoot	RC	4r+26		1		対象：単体 C値8 侵蝕率8
①~③(100未満)		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
エクストリームメイド服		15	2	2	RC+5 判定直後に侵+5でRC+10/1回

所持品	
コネ：要人への貸し	アンソールディングウィル
携帯電話	シルフィードレルム
カジュアル	
思い出の一品	
武美ちゃん特製ネコリンガル	
武美ちゃん特製ガリバースイッチ	
思い出の写真	
思い出のアルバム	
アロンドイト	
偉大なる加護	
リーダーズマーク：RC	

合計装甲：	15	合計回避：	2
-------	----	-------	---

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
Dロイス：患者の黄金P	尽力	N劣等感	
OR：FH	P執着	N無関心	
RE：Sロイス：シャフ=カーミルP	純愛	N不安	
扇動者	P	N	
リチャード	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P:	6	残り財産P:	3
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ミラーコート	3	3	SU	至近	自身	自動		
効果：	シーン間ドッジD+[LV+2]個							
原初の黄：得意領域	5	3	SU	至近	自身	自動		
効果：	R間(RC)判定D+[LV]個							
ミラーイメージ	1	4	SU	至近	自身	自動	80↑	
効果：	R間ドッジC値-1(下限6) 攻-5 [LV]回迄							
千変万化の影	5	2	Mn	至近	自身	自動		
効果：	技能1つにシーン間+[Lv+1] 3回迄							
コンセントレイト：ウロボロス	3	2	Ma	-	-	Syn		
効果：	C値-[LV](下限7)							
原初の赤：振動球	1	4	Ma	視界	-	RC		
効果：	攻+[LV] 装甲値無視							
光の手	1	2	Ma/Re	視界	-	RC		
効果：	【感覚】で判定を行う							
マスヴィジョン	3	4	Ma	-	-	Syn	100↑	
効果：	攻+[LV*5] 3回迄							
スターダストレイン	1	6	Ma	視界	シ(選)	RC		
効果：	攻-[20-LV*5](最大0) 1回迄							
原初の白：マシラのごとく	3	7	Ma	-	単体	Syn	80↑	
効果：	攻+[LV*10] D-5個 1回迄							
原初の黒：オーバードーズ	1	6	Ma/Re	-	-	Syn	100↑	
効果：	組合せたEのLV+2 [LV]回迄							
ストライクミラージュ	1	6	Ma	-	-	Syn	120↑	
効果：	[Re]不可攻撃 [LV]回迄							
リフレックス：ウロボロス	3	2	Re	至近	自身	Syn		
効果：	C値-[LV](下限7)							

【設定】
 彼女は、ヤクザの組長の隠し子としてこの世に生を受けた。そんな境遇の者が、親類縁者と仲が良いわけもなく。隠し子であるがゆえに、母の手一つで育てられた。それでも父からの援助は受ける事が出来たため、普通ではないながらも平和に暮らしていた……善だった。
 事が起きたのは、彼女が小学生となり幾許か経ってからの時。彼女の母が父と話をつける為、事務所に向いた際。謀られたかのように、他所の組との抗争が勃発したのだ。それにより二人とも敵の凶弾を受け、父は帰らぬ人。母も、意識不明の重体となってしまった。話を聞き、絶望のどん底に突き落とされた彼女は、強き力への憧憬を抱いた。そして、渴望したのだ。「大事なモノを失わずにいられる力が欲しい」と。
 _____それが、彼女のオーヴァードとしての覚醒である。
 正義というモノに関心を持たなかった彼女が、FHに加入したのは必然だったのだろう。FHチルドレンとなった彼女は次々と功績を上げ、着々と地位を上げていった。そんなある日、彼女は“賢者の石”というモノの存在を知ったのだ。強大な力を得る事が出来る“賢者の石”。力の象徴ともいえる“賢者の石”。それに彼女が興味を抱かぬ筈もなく、チルドレンから研究者へと転じる。

